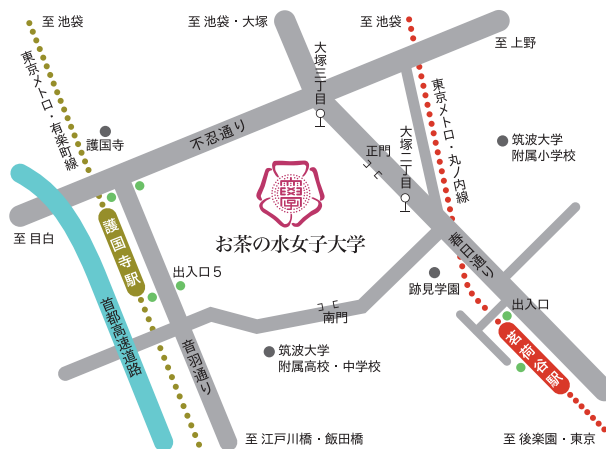


グローバル協力センターとは

当センターは、国際協力を通じて女子教育を促進するための活動拠点として、2003年7月に「開発途上国女子教育協力センター」として開設されました。

2008年4月に「グローバル協力センター」に改組され、国際協力、平和構築に関するお茶の水女子大学の教育、研究、国際貢献を促進しています。

また、2017年からは、「持続可能な開発のための2030アジェンダ・持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)」を巡って、議論を深める機会を提供するとともに、大学の国際協力に取り組んでいます。



Access Map

- 東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩7分
- 東京メトロ有楽町線「護国寺」駅より徒歩8分
- 都営バス「大塚二丁目」停留所より徒歩1分

共に生きる



グローバル協力センター Global Collaboration Center

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



お茶の水女子大学グローバル協力センター Global Collaboration Center (GCC)

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 (学生センター棟308室)

TEL/FAX : 03-5978-5546

E-mail : info-cwed@cc.ocha.ac.jp

<https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/>

2024年2月



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

グローバル協力センターの取り組み

国際的な課題に関する教育・研究と女性リーダーの育成

開発途上国の社会経済、国際協力、NPO等に関する講義

NPOや国際協力実務経験を有するセンター所属の教員が授業、演習を開講しています。スタディツアーでは、講義・文献等から学んだことを基礎としつつ、開発途上国の現場を実際に訪問し、フィールドワークを通して途上国の課題や国際協力に関する理解を深め、自らが何をしていけばよいのかを強く意識してもらうことを目指します。

【2023年度の実績】

- ・国際共生社会論実習（全学共通）・国際共生社会論フィールド実習（大学院設置科目）・NPO入門（全学共通）・NPOインターンシップ（LA）
- ・平和と共生演習（全学共通）・「平和と共生」実践演習（大学院設置科目）
- ・国際協力特論（グローバル文化学環）



調査研究支援

国際的課題を、本学学生が調査研究し、解決につながる道筋を見出してもらうことを目指し、海外調査支援や学生自主活動の支援等を実施しています。



- ・「途上国研究・国際協力分野海外調査支援」
- ・「共に生きる」スタディグループ学生自主活動支援
- ・大学間連携イベント ・センター図書室開室・貸出
- ・国際協力分野のキャリア等の情報提供

シンポジウム・講演会・セミナー

国際的な課題解決に向けて活躍している専門家の講演を通して、どのような課題があるのか、どのようにしてそれらの課題に挑戦していけばよいのかなど、学生自らが目標を見出していく場を提供することにより、女性リーダー育成を目指します。



【2023年度の実績】

- ・持続可能な開発目標（SDGs）セミナー ・ブータン連続セミナー
- ・学内公開講座「JICA 海外協力隊セミナー」
- ・グローバル対話「地球の未来を守る：持続可能な未来のために大学が果たす役割」

情報共有、ネットワーキング

「共に生きる」スタディグループを通じた情報共有、ネットワーキング

「共に生きる」スタディグループでは、スタディグループメンバーの学生による自主活動を支援するとともに、メーリングリストによる国際協力や平和構築に関する学内外の講演会、セミナー、イベント等の情報提供を行っています。

開発途上国の女子教育・乳幼児教育に関する支援

JICA課題別研修「乳幼児ケアと就学前教育」

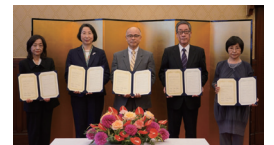


JICA（独立行政法人国際協力機構）の委託を受け、途上国においても重要性が高まっている幼児教育分野の人材育成のための研修を実施しています。2006年から2017年の間、中西部アフリカ地域の10か国から134名の研修員を受け入れ、2018年からは対象地域をアフリカ、中東に拡大し、さらに、2023年度からはアジア2か国（カンボジア、ジョージア）を加え、同分野の政策レベルでの人材育成に貢献しています。

開発途上国の女子教育支援のための五女子大学コンソーシアム

本学では、日本政府のアフガニスタン復興支援の一環として、津田塾大学、東京女子大学、奈良女子大学、日本女子大学と連携し、2002年に五女子大学によるコンソーシアムを締結し、アフガニスタン女子教育復興のための女性教員研修を実施し、2002年から2012年の間、女性教員等169名を受け入れました。五女子大学コンソーシアムは、2006年より支援対象を開発途上国の女子教育に広げています。

- ・五女子大学コンソーシアム協定調印（2022年更新）
- ・五女子大学コンソーシアム協定に基づく連絡協議会の開催



アフガニスタン女子教育支援（野々山基金）

本学卒業生故野々山恵美子様の遺贈により設立された基金を原資として、2012年以降、研究支援とネットワーク強化のため、毎年2名のアフガニスタン女性大学教員等を対象に短期研修を行い、2019年までに16名を受け入れました。また、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会（SVA）と連携し、アフガニスタンにおけるオリジナル絵本作成と学校図書館への配布支援を実施しています。

【これまでに9タイトル、計21,600冊のオリジナル絵本を作成・配布しています】

- ・『孤児の少女』（2013年）
- ・『カメとイチジクの木』（2014年）
- ・『くじゃくの羽』（2015年）
- ・『幸せの半分は健康から』（2016年）
- ・『パンダの冒険』（2017年）
- ・『ハミダと栄養3兄妹』（2018年）
- ・『恩返し』（2019年）
- ・『let's count』（2020年）
- ・『サフィの物語』（2023年）



（2023年度作成サフィの物語）

◆センター主催のセミナーやシンポジウム、報告書など活動成果については以下サイトにて随時公開しています。
<https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/index.html>

